

# 僕らはみんな活きている

～『IT×福祉』で会社を活性化しています！～



# Case.1



## 個性や能力に合わせた指導によって、主体的に業務に取り組めるように。

村吉 政喜 氏

所属するオフィスの開所と同時に利用を開始され、2年以上勤務されている村吉さん。現在は、データ入力やWEBライティングなど、幅広く業務をこなされています。サンクスラボに入る前から安定した勤務姿勢だったと感じさせる村吉さんですが、実際はそうではなかったようです。

「サンクスラボに入る前は、さまざまな職種を転々とし、あまり同じ職場に長く所属する事はできませんでした。同僚とコミュニケーションをうまくとることができず、打ち解けられないまま次の職場を探すことを繰り返していました。

自分の中で性格だけが原因ではないように感じ、心療内科を受診したところ、広汎性の発達障害と診断されました。トラブルを避けるために人とあまり関わりのない仕事もやってみましたが、体調を崩して退職しました。そんな時、ハローワークからサンクスラボを紹介してもらったんです。

**サンクスラボは障がいのある方一人ひとりの個性や能力に合わせて指導してもらえます。**業務につまづいてもすぐにサポートしてもらえるので仕事が進めやすく感謝しています。2年以上所属するなかで徐々に生活リズムも取り戻すことができ、現在は自分自身の体調と照らし合わせながら、無理のない業務ができています。

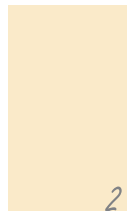
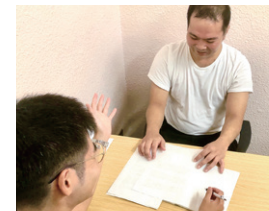
また、以前はプライベートのトラブルが絶えなかったのですが、**今ではサービス管理者責任者や訓練指導員に気軽に相談できるので、精神面も安定しています。**」

安心して業務に取り組める環境の中で、仕事に対する意識も変化したと感じているそうです。

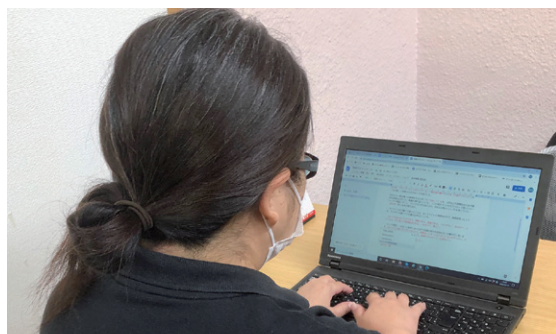
「最初は『やらされている』といった気持ちがあったのが正直なところですが、今では業務で何が求められているかを、主体的に見つけるように心がけることができています。それはやはり先ほど話したサポート体制が大きいと思います。」

**主体性をもって業務にあたるようになった村吉さん。これを今後の仕事や生活にも活かしたいとのこと。**

「今はおかげさまで仕事も楽しく充実していますが、これからいろいろな出来事や問題もあると思います。でも、受け身のような発想を持つのではなく、『主体的に動く』ことを心がけたいと思います。今はまだアドバイスをもらうことが多々ありますが、自分自身で解決できる力をさらに身に付けていきたいです。」







## 自分の経験をいかせるので、やりがいを感じます。

H.S 氏  
データ入力・ライティング業務

一般企業で働いていた S さんですが、どのような経緯でサンクスラボに入られたのでしょうか？

大手 IT 系の子会社で売掛回収などのフルフィルメント業務に携わっていましたが、取り扱っていた金額が大きかったり、上司からの期待がプレッシャーとなり、うつ病となるまでストレスを抱えていました。上司は女性だったのですが、プライベートに踏み込んでくるタイプの方で、相性が良くなかったのも一因でした。

なんとか仕事を続けながら、うつ病を和らげるためのさまざまな治療法を試しましたが大きく改善することはなく、精神状態が悪化して転職を繰り返すようになりました。子どもがいたので収入も必要で、「このままではだめだ」と思い、ハローワークに相談に行きました。

そこで、サンクスラボを紹介されました。雇用契約が結べるのと、PCの経験が活かせるのでいまから約2年前に利用を決めました。



サンクスラボに入って何が良かったのでしょうか？

サンクスラボで働いて感じたことは、障害への理解や配慮があるので、安心感を得ながら仕事ができるということです。また、いろいろな相談にのってくれるので、サービス管理責任者の方とも信頼関係を築くことができます。いままでで一番いいボスです(笑)

同僚も一生懸命業務にあたっているのが刺激になり、自分のスキルを高めようという気持ちになります。現在、リスト作成やデータ入力、ライティング業務を行っていますが、PCの経験を活かすことができている実感があるので、自信につながっています。

今後はどうしていきたいですか？

とても働きやすいところですが、一般就労に向けた事業所であり、いつまでもお世話になるわけにもいかないので、障害者枠のフルタイムで働きたいと思っています。